私たちの毎日の生活を
町内会が支えています。
そんな町内会の大切な活動を
いくつか紹介します。

私たちの暮らしのそばに、町内会



皆さんは、町内会がどんな活動をしているか知っていますか？
実は、私たちの暮らしのすぐそばで、地域をきれいにしたり、安全を守ったり、困ったときに助け合えるような活動をしています。

〈活動の一例〉

環境美化活動

ごみ拾いや草刈り、花壇の手入れ、冬の雪かきなど、地域の環境を整備しています。また、子ども会と連携して資源集団回収をしています。



ごみ集積場所の維持管理

ごみ集積場所の多くは、町内会が維持管理しています。当番制で清掃をするなど、住民が協力してきれいな状態を保っています。



街路灯の設置・維持管理

生活道路の暗い場所を照らすため、町内会が街路灯の設置や維持管理をしています。



レクリエーション活動

地域のお祭りや運動会などを通じて、住民同士のつながりを育んでいます。こうした行事は、世代を超えて交流できる場にもなっています。



防災活動

災害時の対応を確認し合ったり、防災訓練を行ったりしています。住民同士が顔を合わせ、声をかけ合える関係づくりにも、日頃から取り組んでいます。



交通安全・防犯活動

登下校時の児童・生徒の安全を見守る活動や、防犯パトロールなどの防犯活動をしています。



私たち、参加しています！

活動に参加している人や会長の皆さんから、活動に対する思いなどを聞きました。

中学生の役員が活躍！広がる交流の輪

小鳥沢一・二丁目 町内会



子ども育成部副部長
髙橋 咲希さん

地域の大人と小・中学生などの意見交流会があった際に現在の会長に声をかけてもらい、家族も背中を押してくれたので、役員になりました。中学生の自分が大人に混ざって活動することができるか最初は不安でしたが、実際に活動してみると、周りの皆さんが優しく接してくれたので頑張ってみようと思えました。

学校生活が忙しい時やテスト期間などは自分のことに集中して、それ以外の時に町内会の活動に参加することで学校生活とも両立ができています。

家族や学校以外にも自分の居場所ができたことや、信頼できる大人の存在が増えたことがとても嬉しいです。



防災訓練



防災訓練

働きながら活躍中！活動も無理なくスマートに

長橋町 自治会



副会長
田原（たはら） 孝子（たかこ）さん

子育てと仕事をしながら活動をしてきました。自治会の活動は、大変そうなイメージを持たれがちですし、私もそのように思っていましたが、想像よりも大変ではないと感じています。例えば、活動の情報はアプリなどを使って共有するように変わってきました。仕事の都合で定例の会議を欠席することもありますが、欠席時にもアプリで内容を確認することができるので「毎回活動に参加しなければいけない」という強制もありません。周りの人がフォローしてくれる体制が整っているので、無理のない範囲で続けることができています。

コロナ禍に開催したイベント「夢灯り」は子どもたちと一緒に参加することができ、涙が出るほど感動しました。子どもたちの喜ぶ顔を見ると一層やる気も出ます。



盆踊り大会



夢灯り

「幅広い世代でつながり、安心できる町内会」

会長 米沢谷（よねざわや） 由美子さん



私たちの地域には子どもから大人まで幅広い世代の人が生活しているため、さまざまな立場の人からの意見が必要だと思います。せっかく同じ地域に暮らしているのだから楽しく安全に暮らしていきたいですし、少しずつ皆さんの力を借りて持続可能な町内会の体制づくりを模索していきたいですね。

「自由なコミュニケーションで柔軟な取り組みを」

会長 八重樫（やえがし） 章司（しょうじ）さん



子どものいる世帯が多い自治会なので、子どもやその家族とできる活動に挑戦しています。自分の住む地域のことに対して、自由に考えたり動いたりできることが活動の魅力ですね。子どもから大人まで、「やってみたい」をサポートできる自治会にしたいので、もっと多くの若い人に参加してほしいと思っています。

町内会 Q&A

Q1 町内会はなぜ必要なの？

町内会は、ごみ集積場所や街路灯の維持管理、地域の環境美化活動など、日常生活に欠かせない取り組みを行っています。また、災害時や緊急時には、町内会活動によって生まれた地域住民のつながりが助け合いの力となります。安心して暮らすことができる地域づくりに、町内会は欠かせない存在です。

Q2 どんな人が活動に参加しているの？

現在、市内には381の町内会があり、参加している人は地域によってさまざまです。自分たちの住む地域をより良くしたいという思いを持つ人たちが世代を越えて協力し、役割分担しながら、活動に取り組んでいます。

Q3 町内会費は何に使われているの？

会費の使い方は、町内会によって異なります。町内会ごとに地域住民が集まる会議などでその使い道が決められており、地域の皆さんの合意の下で運用されています。決定した使い道に従い、地域の暮らしに関わるさまざまな場面で活用されています。

【例】町内会費内訳
- 会議費、役員手当
- イベントなどの事業費
- 公民館維持管理費
- 負担金や寄付金
- 慶弔費や積立金など

過去の協働かわらばん「つながる“わ”」はこちら



市が発行している「つながる“わ”」で町内会などの地域活動の様子を知ることができます。市ホームページでは過去の記事が公開されていますので、ぜひご覧ください。



掲示板
町内会活動に参加してみませんか？

町内会ごとにさまざまな行事が実施されています。

防災訓練やお祭り、地域の雪かき、資源集団回収などの活動があり、現役で仕事をしている人や子育て中の人でも参加しやすい活動もあります。

町内会の活動に興味が湧いた人は、まずはできる範囲で活動に参加してみませんか？　回覧板や掲示板などで情報を確認し、気軽に参加してみてください。

所属する町内会がどこか分からない場合

市民協働推進課にお問い合わせください。
☎626-7500



お祭りの様子（道明町内会）



環境美化活動の様子（田中自治会）



市長コラム

町内会は、市民の皆さんが安心して暮らせる環境を支える、大切な地域の力です。

日々の活動に取り組んでくださっている皆さんに、心から感謝申し上げます。

町内会の活動は、地域のつながりを育み、いざという時に助け合える関係づくりにつながっています。顔を合わせて声をかけ合う、そんな日常の関わりこそが、盛岡らしい温かいまちを支えています。

人と人とのつながりが薄れがちな今だからこそ、「お互いさま」の心をもう一度見つめ直していきましょう。そして、若い世代や子育て世代の皆さんにも、気軽に参加していただける町内会にしていきたいですね。

盛岡市長　内舘（うちだて） 茂（しげる）

